

## 第5回経済地理学会著作賞選考結果

受賞著書 『在来産業と家族の地域史』 古今書院，2009年刊  
著者 湯澤規子

### 選定理由

本書は、結城紬という今日まで手織り生産による問屋制家内工業の生産形態をとって存続してきた在来産業を取り上げ、生産の主たる担い手である家族経営のありかたを、その中でも主として織布工程の担い手である女性のライフヒストリーの記述から解明した実証研究である。詳細な資料をもとに、結城紬の生産を支えてきた家族の特性をみごとに描き出している。日本における織物生産の担い手は工場生産であれ、家内工業であれ、基本的には女性である。著者は、家族経営に支えられた結城紬生産の場合、とくに、その家族内での女性の生活と行動のありかたが産地のありかたに大きく関わっていることをあきらかにした。事例とした家族や女性への丹念な聞き取り調査などによって得られた資料や情報をもとに、これまでの家内工業研究とは違った角度から、在来産業を分析し一書へと仕上げた優れた著作であると評価できる。

阿部和俊（委員長），末吉健治，箸本健二，中島茂，西野寿章，山田晴通，柳井雅人